

様式5

入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	令和4年10月3日(月) 香川大学 大学本部 5階 第二会議室	
委員	委員長 渡邊 恭令(国立大学法人岡山大学 施設企画部長) 委員 大塚 和辰(公認会計士・税理士) 委員 大平 昇(弁護士)	
審議対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日	
抽出案件(合計)	4件	(備考) 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼なし。
工事(小計)	3件	
一般競争入札 (政府調達に関する 協定対象工事)	1件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	3件	
工事希望型競争入札	1件	
通常指名競争入札	1件	
随意契約	1件	
設計・コンサルティング 業務(小計)	1件	
公募型プロポーザル方式	1件	
簡易公募型プロポーザル方式	1件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	1件	
標準型プロポーザル方式	1件	
一般競争入札	1件	
随意契約	1件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

※ 委員からの意見・質問，それに対する回答等はできるだけ詳細に記入すること。

別紙

意見・質問	回答
<p>議事に先立ち、出席者の紹介、施設環境部長の挨拶</p> <p>(1) 本学が発注した建設工事及び設計・コンサルティング業務について（報告） 「香川大学側より、令和3年4月から令和4年3月に契約した建設工事及び設計・コンサルティング業務について、入札・契約方式ごとに説明・報告」</p> <p>(委員からの意見・質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札方式の基準は参考資料1に示されている基準額により決定されているという理解で良いか。 ・随意契約方式による契約が2件あるが、不落不調の関係で随意契約を行ったという理解で良いか。 ・随意契約に移行する基準はあるか。 <p>(2) 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議 「香川大学側より、委員会による抽出経緯の説明」</p> <p>(委員からの意見・質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。 ・一般競争入札方式による入札を行った結果、不調となった案件について随意契約を行っている。 ・本学の契約事務取扱規程第33条第2項第4号に基づき行っている。

<p>(3) 抽出案件の審議</p> <p>抽出案件①</p> <p>香川大学(番町)イノベーションデザイン研究所新営その他工事</p> <p>(委員からの意見・質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予定価格の積算方法を教えて欲しい。 ・ 予定価格が第一回目の入札結果と比べて大きく乖離している理由について、大学で分析されていれば教えて欲しい。 ・ 不落による随意契約を行うにあたって、相手方と交渉した内容を教えて欲しい。 ・ コロナ前に比べると人件費が大幅に上がっているなど、昨今の異常事態の中、国の即時対応も期待できない状況で、入札が滞りなく行われるのか懸念している。 ・ 2回目の入札時に辞退されている者に対して、辞退理由を確認されているか。 ・ どのような部分が当初の積算価格と相違があったのか分析はされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文部科学省の通知に従い、国土交通省が定める公共建築工事積算基準により算出している。 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に資材単価が短期間で急激に高騰していた時期であったことから、乖離が生じていたと分析している。 ・ 香川県内の現場に近い業者であったため、諸経費をどれだけ削減できるか、また資材購入については長年の付き合いによりどれだけ安く仕入れることができるか確認をさせていただいたうえで、品質を保った施工が可能で、かつ利益も生じることを確認した結果、契約に至っている。 ・ 例えば光熱費が急激に上がっており、全国の大学で困っている状態だが、国からの支援が直ちに得られることにはなっていない。工事に関しても苦しい状況であるが、予算が厳しい中でも学内で予算を確保するなど工夫することを考えている。 ・ 確認していない。 ・ 鉄骨の価格が高騰していたため、予定価格作成時と、受注者が納入時期を想定しての積算価格に相違がみられた。
---	--

<p>抽出案件② 香川大学(三木町医学部他)臨床講義棟等照明器具取替工事 (委員からの意見・質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事の具体的な内容を教えて欲しい。 ・受注者は自社施工で行っていたか。 ・低入札価格調査の実施結果、工事請負等契約細則第10条の第何号に該当すると判断されているか。調査結果が規程のどの部分に該当するか、今後は明確にしておいた方が良いと思う。 ・今回の受注者は、過去にも落札された実績はあるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の照明器具をLEDに改修する工事である。 ・当初自社施工の予定であったが、コロナ禍の影響で器具の納期が大幅に遅れたため、下請会社の協力を得て工期短縮を図った。 ・了解しました。 ・当該年度にはなかったが、過去には数度受注した実績がある。
<p>抽出案件③ 香川大学(医病)南病棟1階101室陰圧改修その他機械設備工事 (委員からの意見・質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事内容を教えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策として、県からの補助金による整備であり、既存の病室をコロナ患者対応とするため、汚染空気の流出を防ぐための空調改修等を行ったものである。

<p>・入札結果のうち無効となっている理由を教えて欲しい。</p> <p>・入札が無効となる場合は多いのか。手続きで決まっているから仕方ないとはいえ、金額が問題であるため、少しの間違いであればどうなのかという気もする。</p> <p>・工事の内容としては、県内の業者でも対応できる内容か。</p> <p>抽出案件④ 香川大学(幸町)情報メディアセンター等改修設計業務 (委員からの意見・質問)</p> <p>・技術提案書の審査結果は、委員が集まって相談されて点数を付けているのか。</p> <p>・技術提案書の評価項目はどこで決まっているか。</p> <p>総括 「今回の審議対象案件については、特段の問題はなく適切に処理されていることが、認められた。」</p>	<p>・開札前日に内訳書の記載内容を確認したところ、記載内容について不備があったため、無効としている。本件では、一式計上のみで細目の数量が不明、全く内容の異なる他の工事内容、明記すべき法定福利費の記載が無いなどがあった。</p> <p>・入札が無効となる場合は年間で数件見られる。記入漏れ等の不備が生じないように、注意事項を赤字で明記するなど大学としても応札者に伝わるようにして工夫をしているところである。</p> <p>・特に特殊な技術を要する工事内容では無く、県内業者でも対応できる。</p> <p>・事前に資料を配付し、あらかじめ各委員で付けた点数を持ち寄ったうえで、間違いが無いか確認した後、審査し決定している。</p> <p>・建設コンサルタント選定委員会において決定している。</p>
---	--

(4) その他

「本学に対して入札・契約手続き等に関する再苦情の申立てがあった場合には、委員会を開催することが了承された。」

「再苦情処理が無い場合、次回の入札監視委員会は来年の同時期（9～10月頃）に開催することと、任期は2年となっていることから、来年度もお引き受けいただくことが了承された。」

「審議内容については、議事概要を作成し、各委員に確認していただいたうえで、香川大学施設環境部のホームページで公表することが了承された。」

(委員からの意見・質問)

・コロナウイルス感染症や、ウクライナ情勢を受け、物価高騰の影響から受注者は厳しい状況が続いている。人件費を上げないと従業員が生活できないような状況になってきていることから、入札を行う際にも最新の状況を捉えながら積算して欲しい。

終了

・了解しました。